



こーひーぶれいく

ドイツ人はスピードがお好き

樋口 隆弘

Higuchi Takahiro

ドイツのちょうど真ん中あたりにあるヴェルツブルクという小さな町の大学に赴任して、12年が経ちました。車好きな筆者が、ドイツ生活で感じた彼らとのスピード感覚の違いについて、ちょっとした閑話提供。

日本同様、ドイツ人にもスポーツカー好きが多く、その理由は…アウトバーンかな？と思います。アウトバーンとは、日本の高速道路のようなもので、制限速度が無制限です（一部区間除く）。しかも、通行料は無料なので、料金所なんかありません。時速200kmなんてお手のもの、出せば出せるだけ何kmでも出し放題！スピード好きには天国のような話です。筆者は友人のポルシェの助手席で、時速280kmの恐怖体験をしたことがあります。その恐ろしさといったら…。

以前、私がスポーツタイプの日本車を購入した時のこと、早速ドイツ人の同僚に自慢したら、すぐに一言「マックス何kmのスピード出た?」。私は意味が分からず、「え?」。ドイツでは、買った車はすぐにアウトバーンでスピードが何km出るかを試するのが標準のようです。こっわ!

初めて来日したドイツ人同僚と一緒に空港からタクシーに乗った時、彼は日本のタクシードライバーの正装、丁寧な対応、自動開閉式ドアに感心。タクシーは高速道路に入り順調に走行していたのですが、ふと隣を見ると、彼は微妙な表情。ドイツのアウトバーンの高速走行に慣れていたので、高速道路で100km（ドイツでは郊外通常道路の速度）しか出さないタクシーに、イライラが募ってきているようでした。彼は、滑り止めの手袋までしたドライバーがどこまでスピードを出して走ってくれるのか期待していたようですが、あまりの遅さに耐えきれず、



しまいには笑い出していました。

速度無制限なんて、みんなメチャクチャ運転して危ない道路だなあと想像する方もいるかもしれませんが、そこはドイツ、きちんとルールがあります。多くの区間は片側3車線になっており、遅い車は右側、特に大型トラックは常に右側を走行しなければなりません。そして、左に行くほど速い車優先の車線。工事やトンネル等で速度制限がある区間は、きちんと制限速度を守ります。数km超過でも見逃さない厳密な取り締まりは、私が身を持って経験済みです。

速度制限が無いからと、喜んで飛ばしていると、大きな落とし穴。燃費問題です。時速200kmなんかで走っていると、燃費は半分以下、あっという間にemptyです。ただでさえガソリンの価格が高いドイツなのですが、昨今のウクライナ問題の影響で更に急騰していて、とても深刻な問題となっています。それでもめげずに、アウトバーンで、猛スピードで走る車はいまだに見かけますが、なんだか強い意志を感じます。

スピードの違いを感じるのには、自転車でも同じ。ドイツでは自転車専用道路が整備されており、ここでの最高制限速度（時速30km!）ギリギリを目指して、猛スピードで走っている人をよく見かけます。自転車専用道路を間違っただけで歩かないように！Vorsicht!!（気をつけて）の大声が飛んできます。

安全面や環境問題から速度制限導入を、との声は常に上がっていますが、アウトバーンに対するドイツ人の執着は並々ならないものがあるようで、議会では毎年否決。ドイツ人にとって速度無制限は自由の象徴であり、誇りのようになっています。しばらくは、快適な高速移動を楽しめそうです。

（ユリウス・マクシミリアン大学ヴェルツブルク）